

One Purpose

FOR BETTER COMMUNICATION



同志社大学通信
DOSHISHA UNIVERSITY

204

2021 July

COVER INTERVIEW

葭本 有悠史さん 蓬田 泰生さん



特集

コロナ禍の 『倅不羈』

同志社人訪問

フリーアナウンサー

石井 亮次さんに聞く

My Purpose 挑戦する人
を動画でCHECK!



2

特集

コロナ禍の『倅儻不羈』

7

Seminar ～ゼミ探訪 学びの時間～

生命医科学部 横川 隆一 ゼミ
スポーツ健康科学部 石倉 忠夫 ゼミ
政策学部 川井 圭司 ゼミ
グローバル地域文化学部 向 正樹 ゼミ

9

同志社の研究は今

宮廷文化研究センター
研究センター長 岩坪 健(文学部国文学科教授)



11

データでみる同大生のコロナ禍における就職状況

13

2020年度 大学決算について／2021年度 大学予算について

15

INFORMATION

2021年春 EUキャンパスドイツ語オンラインプログラム 実施報告／
同志社大学障がい学生支援制度発足20周年記念シンポジウム並びに企画展開催のご案内／
本学教員の執筆図書紹介

18

INTERVIEW ～同志社人訪問～

フリーアナウンサー
石井 亮次さんに聞く



21

My Job, My Life ～私と「仕事」～

森田 洋介さん(2011年 商学部商学科卒業)
稲垣 佳乃子さん(2017年 法学部政治学科卒業)

23

COVER INTERVIEW My Purpose ～挑戦する人～

蓬田 泰生さん(商学部 商学科 4年次生)
霞本 有悠史さん(法学部 法律学科 4年次生)



お知らせ

「One Purpose」は在学生・卒業生の皆さんとのコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。
同志社大学の最新情報は随時ホームページでお知らせしております。ぜひご覧ください。▶ <https://www.doshisha.ac.jp/>

卒業生の住所変更、発送停止を希望される場合の連絡先は以下にお願いします。
校友課 TEL: 075-251-3009 MAIL: ji-koyu@mail.doshisha.ac.jp

『コロナ禍の 倜儻不羈』

『倜儻不羈』とは、同志社の創立者 新島襄が教育の理念とした言葉で、「常軌では律しがたいほどの独立心と才気に富んだ者」を示します。昨年からのコロナ禍という困難な状況にあっても、確固たる信念と責任をもって行動する学生の皆さんの姿が多く見られました。

今号の特集では、志を持ってチャレンジする彼らの取り組みを、ご紹介します。

学生トレーナーとして 選手をサポート。 コロナ禍を成長の機会と捉えて 日本一をめざす。



辻野慎太郎さん
法学部4年次生

4歳でラグビーを始め、レベルアップを図って同志社香里高校へ。しかし大学では出場機会に恵まれず、監督の勧めもあって2年次生で学生トレーナーに転向しました。

学生トレーナーの仕事は、練習時のサポート、負傷者の救護やその後のリハビリ、トレーニングのメニュー作成など多岐にわたります。けがをしない体づくりとグラウンドでのパフォーマンス向上を支援するS&C (Strength & Conditioning) コーチに近い役割です。チームを裏から支えるという意味で、試合に勝ったときの喜びは選手時代より大きいかもしれません。4時に起床し、自宅から2時間かけて朝の練習に通う生活はハードですが、やりがいがあります。

コロナが拡大する直前の1カ月間、JICA海外協力隊として、インドでラグビーの普及に携わったことがあ



ります。貧しい地域の子どもたちがラグビーを通じて笑顔になる様子を見てスポーツの力を実感したし、私自身やはり誰かを支える生き方が向いているのかなと感じた経験でした。

その生活がコロナで激変しました。昨春の緊急事態宣言発出後、部員は夏まで実家で待機。その間、オンラインで全員を結んでトレーニングを続けました。練習再開後は感染防止に細心の注意を払ってきましたが、12月、大学選手権の1週間前に寮でクラスターが発生して出場を辞退。本当に辛い経験でした。関西リーグで負け続けていた大学に快勝した後だけに悔しさもひとしおでしたが、コロナ禍でも練習の成果は出ていたんだと前向きに捉えました。現在も部員はもちろん練習器具の消毒も徹底して行い、全員の検温結果を毎日Googleフォームで管理。自身の感染対策とチーム全体の対策を確実に実施しています。

オンライントレーニングをしていた期間は、恵まれた練習環境のありがたさ、人と直接関われることの大切さ、ラグビー部を支えてくださる方々への感謝を再認識しました。リモートならではのさまざまな取り組みは、チームも私自身をも成長させてくれました。今後も制約のある生活の中でも人とのつながりを大切に、学生日本一をめざしたいと思います。



本来なら出場するはずだったディベート大会がコロナで中止に。代わりの活動をゼミで考え、商品の開発プロセスに興味のある人が多かったため、経済学部学生プロジェクトに応募しました。テーマは化粧品の新商品開発。11名を3班に分け、化粧品が大好きな私がつまみ役になって、昨年4月にスタートしました。

最初は企業に企画メールを送りましたが反応が芳しくなく、ゼミの竹廣教授に相談。最終的に京都商工会議所の紹介で、金紙・銀紙など特殊加工紙を製造してきた会社の化粧品ブランド「加美屋」とコラボする機会をいただきました。

共同開発したのは練り香水と、あぶらとり紙。2つとも既存商品に大学生の視点を加えてリメイクする形です。同志社にちなむ商品であることと、コロナ禍で土産物の需要も減ったことで、地元の方にも親しんでもらえるものにすることがコンセプトでした。練り香水は同志社カラーの紫がモチーフ。名前は加美屋さんと一緒に考えて「紫陽花」に。



知識のない状態から始めたので、資生堂に勤める卒業生や広告代理店の方から、商品開発や広告戦略のノウハウを学びました。店頭での販売体験も購買層の勉強になりました。苦労したのは、企業とコンセプトやデザインを練り上げていく過程です。商品名は100案ほど出しても採用に至らず、紫陽花という花にどんな気持ちを込めるのかという部分でも悩みました。最終的にはコロナ禍で多くの人が苦しんでいる状況を考え、小花が寄り集まる姿に「団結」という思いを込めました。

昨年ステイホームを始めた当初は、肌荒れを起こすほどストレスを感じました。でも、現状を嘆いても仕方ありません。私は軽音サークルでドラムを担当しているので、特別定額給付金で電子ドラムを買ったり、新たにギターを始めたり。学生プロジェクトも、各自が他の活動をできなくなったからこそ注力できたこと。コロナ禍を意識しすぎて萎縮するのではなく、できなくなったことの代わりに新しいことに挑戦して、学生最後の夏を有意義に過ごす予定です。



ゼミで化粧品開発に挑戦。 練り香水に「団結」の心を込めて。



山口真央さん
経済学部4年次生

「加美屋」のTwitter・Instagramでは、営業状況や商品情報などをお知らせしています。ぜひご覧ください。

Twitter・Instagram: @kamiyanotonchi

昨年4月に緊急事態宣言が出された時、人通りの途絶えた四条河原町を見て衝撃を受けました。京都が大変なことになる。授業もオンラインになって、これからどうなるのか。すぐに3人で話し合い、お世話になっている京都のために何かをしようと決めました。マスクに着目したのは、今までマスクとは縁のなかった海外の友人までもが着用し始めたことを知ったから。京都の伝統技術を使ったマスクなら、京都の魅力を国内外へ発信できると考えたのです。

決めたその日に、京都の染色職人さんに電話をかけ始めました。5件目にかけた亀岡市の染色会社の社長さんが話を聞いてくださいました。その会社もコロナ禍で打撃を受けていて、私たちと思いが一つになったのです。染料は柿渋、技法は引き染めに



決定。柿渋は京都府の山城地域が日本三大産地として有名ですし、引き染めは京友禅の重要な工程です。デザインや機能性も検討を重ね、紐はアジャスター付きにして「京MASK」が誕生しました。一枚一枚が職人さんの手作り。使い込むほどに色に変化してなじむ点も、京都らしさに通じます。

密集化をなるべく避けるため、販売場所の確保や現場での打ち合わせなどが難しく、苦勞もしました。一方で、SNSで多くの人々と繋がったり、それがきっかけで亀岡市のふるさと納税返礼品に登録していただいたりもしました。活動2年目の夏は、京MASKの認知拡大、クラウドファンディングへの挑戦、新商品の開発に注力します。いま開発しているのは、柿渋生地とリサイクル着物などを組み合わせたロングコート。着物コートの生地が余って廃棄されると聞き、社会課題の解決もめざして始めた取り組みです。

自分の将来のための活動や勉強は、今まで3人ともさまざまにしてきました。今回は京都のために始めた取り組みです。「自分ではない誰かのため」の行動は中途半端には終われません。当面の目標は1000枚販売



ですが、マスクを通じて世界に京都を知ってもらうことが主眼。そしてアフターコロナに京都を訪れていただくことが、京MASK活動の最終ミッションです。

『京もの屋 SEKIROKU』のTwitter・Facebookでは、日々の活動や商品の紹介、クラウドファンディング情報などを随時更新中。ぜひご覧ください。



Twitter: @SEKIROKU2020



Facebook: 京mask

マスク×京都の柿渋＝京MASK。 伝統技術とのコラボで風雅なマスクを開発。



上田 雄太さん
商学部4年次生



高永 雅人さん
経済学部4年次生

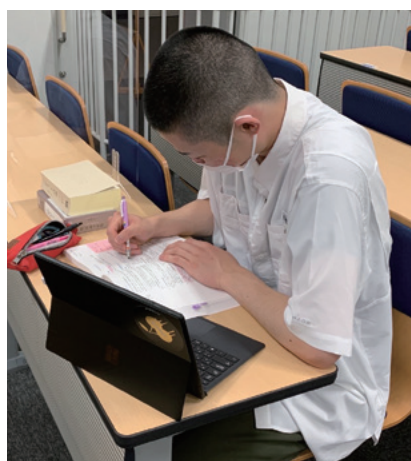


福原 壮太さん
経済学部4年次生

目標は早期卒業と法科大学院入学。 孤独な時間を利用して勉強に打ち込む。



高須 樹さん
法学部2年次生



最初に法曹を目指そうと思ったのは10歳前後の時でした。社会科の資料集で見た、検察官のバッジのかっこよさが印象に残りました。ドラマでも警察官や検察官の正義に惹かれて、いつしか検察官が憧れの職業になりました。

現在は早期卒業からの法科大学院入学と、司法試験の予備試験の準備をしています。法科大学院に進めばさらに学費が必要だし、司法試験への挑戦は数年がかりになるかも

しれないので、早期卒業は時間短縮と学費の節約が目的です。予備試験合格をめざすのは、司法試験と同じくらい難関とされるこの試験に合格した方が、将来の就活では実力を評価されやすいと聞いたから。予備試験の科目は非常に多いので、法科大学院の受験勉強も兼ねられます。

昨年入学して京都に引っ越してきたと思ったら、コロナ禍で入学式が中止になり、授業もオンラインに。秋学期の開始までは福岡県の実家で過ごし、大学の友人などできるはずもなく孤独を感じていました。ただ私はもともと、自己管理がそれほど上手ではありません。社会がコロナで自粛モードにならなかったら、遊びの誘惑に負けて、今ほど勉強していなかったでしょう。今はコロナ禍というピンチを、自分の成長のチャンスに変えたい。授業はオンデマンド式を選択して自分のペースで受講しながら、午前中から午後9時まで図書館で勉強する毎日です。司法試験の予備校で励まし合う仲間や家族の存在、昨秋に入ったボクシング部の監督さんや先輩からの理解も、

大きな支えになっています。

弁護士は依頼人の立場に立った仕事しかできませんが、検察官は被害者・加害者のどちらにも関わられます。被害者に寄り添いながら公正な捜査を行い、加害者にどういう責任を取らせるか、あるいは社会復帰のチャンスはあるかなどを考えて起訴・不起訴を決定します。罪は裁かれるべきですが、中には恵まれない環境が原因で犯罪に走る人もいるでしょう。そういう人の人生も支援できるような検察官になりたいと思っています。





人のところに寄り添った研究者・技術者を目指せ —力の出せないパワーアシストロボットの研究・開発—



よこがわ りゅういち
横川 隆一ゼミ

生命医科学部教授

私の卒業研究のゼミでは、医工学科の積際 徹先生と協力して、人の運動を補助するロボットの研究開発を行っています。研究の課題は、私たち自身の身体の運動・制御に関するもので、日常生活とも密接しています。

ロボットや介護機器の研究開発を通して、私たち自身の筋骨格系や脳神経系の運動・制御機能を調べることは、非常に興味深く、ゼミの皆さんの好奇心を刺激しています。しかし、研究・開発を行うためには、単に好奇心だけで、十分だとは考えていません。一人一人の使用者を幸せにする・笑顔にするためには、何が求められるのかをロボットの研究開発を通して学んでもらいたいと考えます。

これまででは、人が製品の使い方を覚え、製品に適応してきました。健常の人ならそれで快適です。工学的な解法と言えます。しかし、介護を必要とする人（要介護者）にとっては、難しいことです。ロボットや機器が、要介護者それぞれの運動能力や個性に合わせることがとても重要です。ロボットや機器が、人の運動や力を補助すればよいものではありません。運動しなくなると、筋骨格はやせ衰えます。必要以上の運動補助は、かえって運動能力の低下を招きま

す。すべてを助けることは人にとっては必ずしも幸せとは言えません。どこまで助けるのかが重要です。あえて使い難くすることも、人にとっては必要かもしれません。ベッドから車椅子への移乗では、介護者がロボットの助けによって簡単に力を出せるようになると、要介護者の体を振り回すことになるかもしれません。要介護者にとっては堪ったものではありません。力が加えられるということは、加・減速が加えられるということです。車酔いのような気分になるかもしれません。要介護者にとっては、できるだけ力を加えられない方が快適です。力を必要としない動作をロボットが補助することが必要です。

ロボットや機器だけを見るのではなく、それらを笑顔で利用する人々の姿を思い浮かべて、研究開発に挑戦してほしいと考えています。使用者のところに寄り添って、ロボット・機器を創造できる研究者・技術者を目指してほしいです。医工学科のみなさんならそれが十分に可能であると確信しています。



スポーツや運動場面における『刺激・環境⇒?⇒反応・行動』の?を理解しよう!



いしくら ただお
石倉 忠夫ゼミ

スポーツ健康科学部教授

スポーツ健康科学部では、演習を3年次春学期から4セメスター開講し、4年次で卒業研究が必修になっています。私のゼミではスポーツ心理学を学びます。スポーツ心理学は「スポーツ」や「運動」を対象とした「ヒトのココロの動きや行動」を理解し、ある程度予測していく研究領域であると言えます。スポーツ心理学で扱う内容は次のように大別できます：①スポーツ運動の発達、②スポーツ技能の学習、③スポーツの動機づけ、④スポーツ社会心理、⑤競技の実践心理、⑥スポーツメンタルトレーニング、⑦健康スポーツの心理、⑧スポーツ臨床。私は臨床心理士等の資格を持っておりませんので、スポーツ臨床は対象外にしています。このようにスポーツ心理学の扱う内容は多岐にわたり、学生はいろいろな面で興味や関心を示してくれます。しかし、目に見えないココロを研究対象としているため、私が理論やモデルを使って説明した途端に学生は理解しづらくなるようです（私も学生の頃はそうでした）。また、近年では講義内容を自身の競技等に活かそうと考える貪欲な学生の姿勢が見られなくなってきたと私は感じています。したがって、ゼミ指導では【素朴な疑問を大切に、それを自身の問題として理解し解

決していく姿勢を育む】ことを目標にしています。ゼミ以外の学びの場として、大学院生との研究会に参加する機会も提供しています。

私のゼミでは、3年次にスポーツ心理学のテキストを使い、各学生が担当部分を発表しディスカッションを行います。次にスポーツ心理学で用いる基本的な実験やアンケート調査を行い問題解決のための研究方法を学びます。3年次の終わりには各自が卒業研究テーマを複数考えます。4年次では卒業研究テーマを絞り込み、実験または調査を実施。そして論文にまとめ、研究成果を口頭で発表するという流れになっています。

2年間のゼミ活動を通じて、学生が卒業してから何年か経った後に「同志社大学スポーツ健康科学部を卒業して良かった」と思ってもらえたらと考えています。

石倉研究室（ゼミ紹介HP）

<https://www1.doshisha.ac.jp/~tishikur/index.html>



五感を使って学び、考え、心を動かして行動につなげる



かわい けいじ
川井 圭司ゼミ
政策学部教授

ゼミではスポーツ法政策を学んでいます。具体的なテーマを挙げると、プロスポーツの法的諸問題、オリンピック、学校スポーツ、スポーツ事故、賭博、ジェンダー、ビジネス、国際貢献、コミュニティの創造…、などです。手前みそになりますが、スポーツ法政策は魔法の学問分野だと感じることがあります。我々の多くが何らかの形でスポーツにかかわった経験を持つため、スポーツの問題を自分のこととしてイメージすることができます。また国内外を問わず、多くの、そして様々な情報が溢れていますので、それらの論点を共通の基礎情報をもとに掘り下げることができます。このゼミでは「スポーツ」を学ぶのではなく、スポーツという「フィルター」を通して、幅広く社会の問題や課題にアプローチしていきます。しかも、これらを国際比較の観点から掘り下げます。身近なスポーツを通じて、社会を学び、批判的に考え、さらに深堀をし、自らの答えを絞り出していくという過程を繰り返すことで、社会問題の本質を見抜く力が養われていきます。気が付けば、勉強嫌いな学生の目の色が変わっているのです。スポーツ法政策の魔力を感じる所以です。

また、ゼミでは五感を使った学びを大切にしています。現場に立ち、問題を肌で感じ、それぞれの立場から検討を深め、他人の意見に耳を傾け、最終的に

自分の考えをまとめる。知識の共有だけでなく、むしろ考え方や視点の共有を意識しています。自分とは異なる見方を知り、自らの考え、そして「常識」を見直すことを大切にしています。そのため国際交流も頻繁に実施しています。特に豪州ピクトリア大学との学術・文化交流、そしてインドでの「スポーツを通じた国際協力」フィールドワークでは、まさに琴線に触れる経験と学びを得ることができました。

学生の声（4年次生 妻鹿 瑤さん）

川井ゼミは、一人の人間としての幅が広がり成長できるゼミです。部活をしている人、スポーツ未経験な人、海外で生活したことがある人、様々な人がいる中で誰か一人が主役になるのではなくゼミ生一人一人が関心を持ち発言し行動しています。そのことで多角的な観点があることに気づきます。学期ごとにゼミ長が代わるのですが、ゼミ生一人一人が新ゼミ長をサポートするとともに自らの役割を見つけて主体的にゼミに貢献しています。また引っ込み思案な人も行動を起こしやすい空気、環境を先生だけでなく、ゼミ全体で作っていることも特徴です。このように人との関わりや思いやりがゼミの雰囲気良くし、一人一人の個性をより磨くことのできるゼミだと感じています。



身近なところにグローバルな世界を発見し、地域の文化を複眼的に分析する



むかい まさき
向 正樹ゼミ
グローバル地域文化学部
准教授

ゼミの概要

グローバル地域文化学部では3・4年次にグローバル地域文化発展セミナー、同専門セミナーというゼミを履修します。私のゼミでは、アジア・オセアニア地域のグローバルイシューを歴史学的に考察する「現在史」的アプローチを掲げています。近年の歴史学研究は大きく射程を拡大しており、本学部が掲げる現代的イシューについての学びに生かされる可能性もますます広がってきています。その一つが、メディア・教育・観光・博物館など私たちの身の回りにある歴史コンテンツを分析する「ヒストリーカルチャー」という手法です。例えば私のゼミの学生たちは、映画『キングダム』に登場する始皇帝の人物像の歴史の変遷、漫画『ゴールデンカムイ』がアイヌ文化の大衆化に果たす役割、ディズニーアニメ・映画『ムーラン』が描くアジア女性や異民族のステレオタイプなど、グローバル地域文化の一環として新しい歴史学の領域のテーマに取り組んでいます。

ゼミの指導のポイント

私のゼミ指導のポイントは、日本のアジア史研究者たちが実践してきたように、研究対象地域の言語を習得し、現地語文献を読み解き、現地調査も行うことで内在的理解につとめるということです。残念ながら日本では他のアジアの国々や人々に対する偏見が根強く残っています。私が目指するのは語学スキルや学術的ディシプリンの修得のみならず、アジアや世界各地の人々に対しバランスのとれた見かたができ、対等なつきあい方ができるような「人」を育てることです。今後、新型コロナが終息すれば関西のムスリムコミュニティでのフィールドワークなどの企画を再開し、そうした身近なところからのグローバルな学びを通じ、世界の人々がもつ独自の文化を素直にリスペクトする感性と、他者の文化を複眼的に分析する力を養って欲しいと思っています。

京都文化の起源である宮廷文化の研究を深化させ その周知と継承・保護に大きく貢献する

平安京遷都によって京都は千年余の王城の地となる。天皇・貴族・公家は高雅な美意識を結実させるために、卓越した匠たちを集め、官営工房を設け、日本ならではの宮廷文化を開花させていった。これが今日に受け継がれる京都文化の起源である。同志社大学今出川キャンパスは京都御所に隣接する公家町の旧域に校地を構える唯一の総合大学として宮廷の歴史と文化を調査・研究してきた。これを起点に日本文化の核である宮廷文化の研究をさらに深め、その成果を広く発信し、周知と継承・保護を図る学際的研究拠点を構築するために、今年4月に宮廷文化研究センターを開設した。

宮廷文化研究センター

研究センター長

岩坪 健

【文学部国文学科教授】

1981年京都大学文学部国語学国文学科卒業。1989年大阪大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。1991年「源氏物語古注釈の研究-中世源氏学の流れ-」で文学博士。第16回日本古典文学会賞受賞、第15回紫式部学術賞受賞。中学3年生の時に教科書で『源氏物語』に出会い、自然描写の美しさが登場人物の心理描写とマッチしているのに感銘を受け、研究の道へ進む。コロナ禍以前は趣味のオペラ鑑賞をイタリア、オーストリアなどで堪能。



次代を担う学際的研究拠点を目指す

今出川通烏丸東には、明治初期の東京遷都まで竹内家、徳大寺家、藤谷家、冷泉家（現存）、山科家、伏見宮、二條家の公家屋敷が建ち並び、公家町が形成されていた。豊臣秀吉の都市政策によって集住が行われたのである。同志社大学による構内の発掘調査でも二條家邸をはじめ公家屋敷の遺構や遺物が数多く発掘されている。「宮廷文化は文学、装束、宗教、建造物、年中行事（儀式）、絵画、彫刻、美術工芸品、京料理など極めて多様な分野に及んでいます。しかし、京都文化が宮廷に由来するものであるという視点は学術的にまだ確立されていません。本研究センターでは学際的、多角的な観点からこの研究を深化させ、新たな成果を広く発信すると共に、宮廷文化の周知、継承・保護にも貢献したいと考えています」と岩坪健センター長は本センター設置の目的を語る。浜中邦弘研究員（歴史資料館准教授）は、宮廷文化が京都文化の源流である一例として宮廷の人々が極めた配色美であるかさねの色目に注目する。「平安時代の服色は珠玉で多彩です。これは日本の美意識を象徴するものであり、その色彩感覚は時を超えて受け継がれてきました」。また、山科言親研究員（衣紋道山科流若宗家）は「例えば、宮廷で重んじられ、代々継承されてきた有職故実、あらゆる日本の伝統文化に多大な影響を及ぼしています。宮廷文化を探究することによって私たちの文化の根源を見詰め直し、解明していきたい」と本研究センターが推し進める宮廷文化研究の重要性を強調する。



浜中邦弘研究員
（歴史資料館准教授）



山科言親研究員
（衣紋道山科流若宗家）

公家や尼門跡とも連携して考証を推進

実施計画の中核となる調査・研究は、今出川校地に隣接する冷泉家、構内に邸宅が所在した二條家、山科家と連携を図りながら取り組んでいる。冷泉家は歌聖と仰がれた藤原俊成、定家父子を祖先に持つ「和歌の家」であり、冷泉家邸宅は現存する唯一の公家屋敷である。公益財団法人「冷泉家時雨亭文庫」には貴重な文化遺産が保存され、古式にのっとった歌会など伝統行事も現代に伝

えている。二條家は五摂家の一つであり、発掘調査で遺構を検出しており、天皇が即位礼で行った秘儀などを記した「二条家文書」が継承されている。山科家は有職故実に精通し装束のことを司る衣紋道山科流宗家であり、装束関係史料を中心にした「山科家文書」を受け継ぐ。



文書類では「二条家文書」（歴史資料館所蔵）、「山科家文書」（人文科学研究所所蔵）や源氏物語関連史料など大学所蔵の文書や考古資料などの基礎研究を進めている。また、門跡寺院などが所蔵する史料の調査・研究もご協力を仰ぎながら行っていく。「特に尼門跡寺院は公家言葉を用い、御所風の生活習慣を受け継いでおられるので、往時の宮廷文化を垣間見ることができます。秘蔵されている史料なども貴重です」と山科研究員は新たな成果に期待を寄せる。併せて、和歌や装束などの公家家職、伝統行事なども考証していく予定である。

多彩な発信を試み、継承の担い手を育成

宮廷文化の周知については、外部機関との連携による収集史料などの展示企画、調査・研究の成果に基づく講演会やシンポジウムの実施、学生・留学生を対象にした文化体験企画、講義プログラム構築、伝統行事の実演などを想定している。「まず、本学に所蔵されている源氏物語の貴重書の中から『源氏御手かゝみ』を公開します。源氏物語五十四帖から物語本文を抜き書きした色紙を右に、対応する絵を左に配した典型的な画帖です。雅な宮廷の世界を実感していただきます」と岩坪センター長は直近の実施企画を予告。また、江戸時代に公家が天皇より下賜された禁裏御用品の研究報告書を作成し、これをテーマにしたシンポジウムの開催も計画している。

継承・保護に関しては、京都の文化を支える職人との交流を通じて継承・保護の手段を研究し、国内外の企業・大学との連携によって宮廷文化の発信の強化を図り、これらを背景に次代の担い手を育成したいと考えている。「京都文化を守り継ぐ老舗や匠の方々とのネットワークの創出に力を注ぎたい。これは本研究センターの重要な役割であり、社会的にも意義のあることです」と浜中研究員は意気込みを語る。山科研究員は「史料などが豊富な近世に重点を置いた調査・研究も次代に大きく役立つと考えています。また、公家が遺した文書が過去を探る貴重な手がかりになっているわけですが、現代を生きる私たちも未来に向けた確実な継承の在り方を熟考しなければなりません」と提言する。

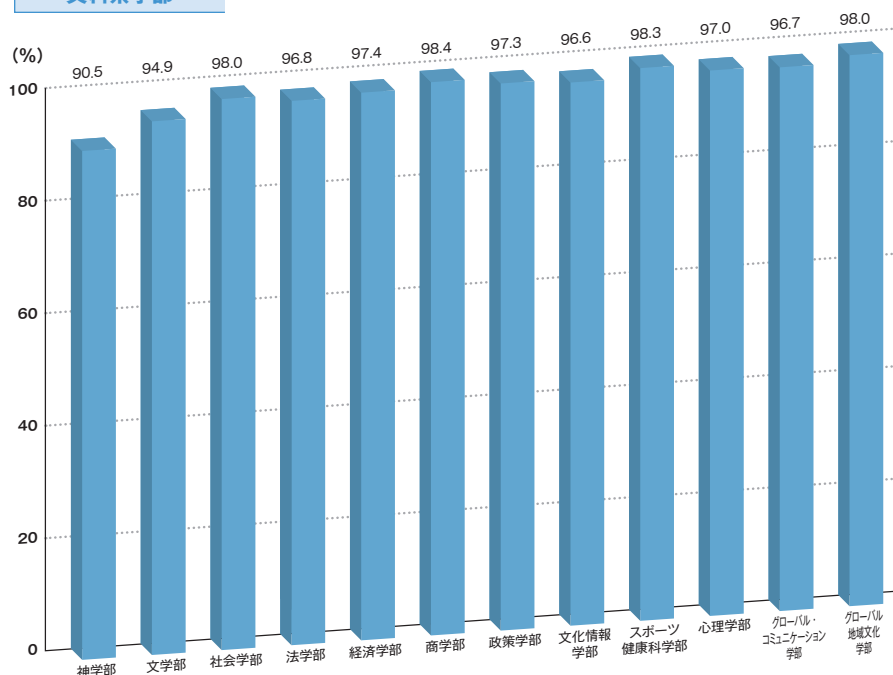
データでみる 同大生の コロナ禍における就職状況

コロナ禍の影響を受けた2020年度の就職率は97.5%（学部・研究科合計）となり、2019年度の98.2%より0.7%低下しました。オンライン会社説明会やオンライン面接など、学生、企業双方にとって初めてづくしのコロナ初年度となりました。結果的には、新型コロナウイルス感染拡大前からインターンシップや会社説明会に参加した学生とそうでない学生の差が明確となり、複数の内定を得る学生となかなか内定を得られない学生の二極化が例年以上に進みました。しかし、なかなか内定を得られなかった学生も、諦めずに就職活動を続け卒業直前に就職先が決まるなど、学生の努力の結果、コロナ禍でも就職率が微減した程度にとどまったと思われます。社会の動向に目を向けると、リモートワークの推進や週休3日制導入の検討など、働き方の多様化が進みました。このような状況の中で、これまで以上に、変化に柔軟に対応し、自ら考え行動できる自立した人材が求められています。皆さん自身が納得できるキャリアを形成するためには、コロナ禍においてもオンラインを利用した活動に積極的に参加するなど、充実した大学生活を過ごし、インターンシップやキャリアセンターのプログラムを通じ社会の動向や働くことへの理解を深め、早い段階から将来の進路を考えていくことが大切です。

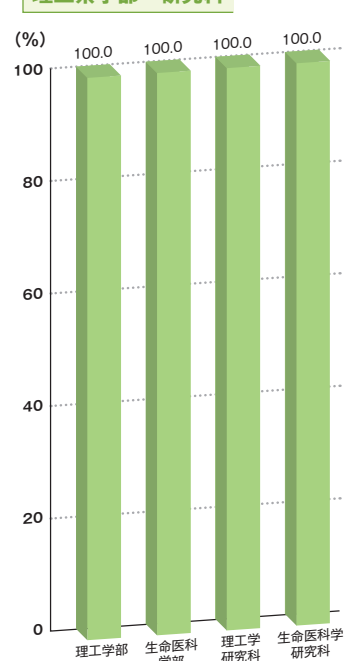
■ 就職率

$$\text{就職率} = \frac{\text{就職者数}}{\text{就職希望者数}}$$

文科学部



理工系学部・研究科



■ 主な就職先と人数

会社名と人数

文科学系

国家公務員（一般職）	59	レイスグループ	14
明治安田生命保険相互会社	40	裁判所職員（一般職・裁判所事務官）	13
日本生命保険相互会社	34	第一生命保険株式会社	13
株式会社京都銀行	32	株式会社西日本シティ銀行	13
みずほフィナンシャルグループ	31	日本アイ・ピー・エム株式会社	13
楽天グループ株式会社	30	りそなグループ	13
住友生命保険相互会社	26	NECソリューションイノベータ株式会社	12
株式会社三井住友銀行	26	株式会社クイック	12
三井住友信託銀行株式会社	24	日本年金機構	12
東京海上日動火災保険株式会社	24	株式会社福岡銀行	12
国税専門官	22	株式会社ユニクロ	12
株式会社滋賀銀行	22	日本電気株式会社	11
株式会社ニトリ	22	西日本電信電話株式会社	11
大阪市	18	野村證券株式会社	11
京都府	16	株式会社船井総合研究所	11
株式会社南都銀行	16	パナソニック株式会社	11
株式会社日本政策金融公庫	16	大阪府	10
株式会社村田製作所	16	株式会社商工組合中央金庫	10
株式会社NTTDocomo	15	滋賀県	10
京都市	15	株式会社日立製作所	10
富士通株式会社	15	株式会社三菱UFJ銀行	10
京セラ株式会社	14	三井住友カード株式会社	10
京都市中央信用金庫	14	三井住友海上火災保険株式会社	10

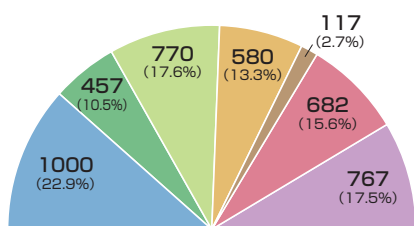
理工系

パナソニック株式会社	20	トヨタ自動車株式会社	6
ダイキン工業株式会社	16	株式会社デンソー	6
株式会社エヌ・ティ・ティ・データ	14	日東電工株式会社	6
ダイハツ工業株式会社	10	富士ソフト株式会社	6
西日本電信電話株式会社	10	マツダ株式会社	6
本田技研工業株式会社	10	三菱電機株式会社	6
株式会社村田製作所	10	株式会社メイテック	6
ソニーグループ株式会社	9	株式会社島津製作所	5
株式会社野村総合研究所	9	株式会社豊田自動織機	5
ローム株式会社	9	日産自動車株式会社	5
関西電力株式会社	8	日本アイ・ピー・エム株式会社	5
京セラ株式会社	8	NECソリューションイノベータ株式会社	4
三菱ケミカル株式会社	8	株式会社大林組	4
株式会社NTTDocomo	7	オムロン株式会社	4
株式会社日立製作所	7	花王株式会社	4
富士通株式会社	7	株式会社サイバーエージェント	4
アクセンチュア株式会社	6	スズキ株式会社	4
川崎重工工業株式会社	6	積水化学工業株式会社	4
株式会社きんでん	6	TIS株式会社	4
株式会社クボタ	6	日本電気株式会社	4
株式会社小松製作所	6	西日本旅客鉄道株式会社	4
シャープ株式会社	6	富士フイルムビジネスソリューション株式会社	4
中部電力株式会社	6	ヤンマーホールディングス株式会社	4

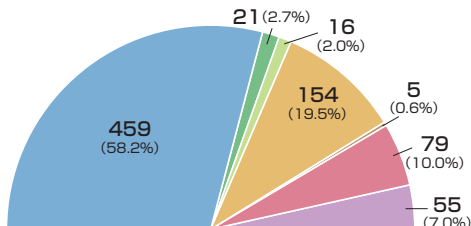
※企業団体名は2021年4月1日現在の名称を記載しています。

■ 業種別内定状況

【文系学部・研究科】(人)



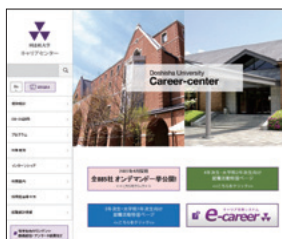
【理工系学部・研究科】(人)



- メーカー
- 流通
- 金融
- マスコミ・情報通信
- 教育・学習支援
- サービス
- 公共・その他

キャリアセンターホームページで情報収集できます！

キャリアセンターが開催するプログラム情報や個別相談の利用方法、OB・OG情報の閲覧方法など就職活動に関する情報をホームページでお知らせしています。1年次生から参加できるプログラムもあります。就職活動を考えている方はもちろん、将来を考えるきっかけがほしい方もぜひ利用してください。



【ホームページに掲載している主な内容】

- キャリアセンター利用案内
- インターンシップ情報
- 個別相談利用方法
- 証明書・履歴書
- OB・OG訪問情報の閲覧方法
- 就職統計情報
- プログラム案内



スペシャルコンテンツ

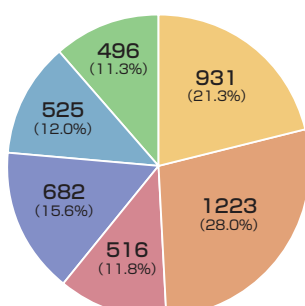
「同志社生よ、競争を恐れないでほしい！
そして、勝ってほしい！
あなたたちにはその資質がある！」

佐藤 優 同志社大学特別顧問（東京担当）から同志社大学の1、2年次生向けにいただいたビデオメッセージをYouTubeで公開しています。ぜひご覧ください。

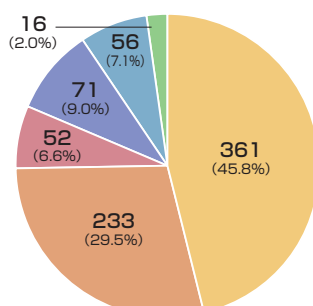


■ 従業員規模別就職状況

【文系学部・研究科】(人)



【理工系学部・研究科】(人)



- 巨大企業
- 大企業A
- 大企業B
- 中企業
- 小企業
- その他

(注) 巨大企業 = 従業員5,000人以上
大企業A = 1,000人以上
大企業B = 500人以上
中企業 = 100人以上
小企業 = 100人未満

※各種学校、非営利団体、宗教法人、医療・保健、介護事業、公務員などの業種は全てその他に含まれます。

※データは2020年度確定数です。

キャリアセンター年間プログラム

スタートは3年次生の春から！

キャリアセンターの支援プログラムが本格的に始まるのは3年次生の春からです。コアプログラムは「ガイダンス」・「セミナー」・「ワークショップ」を1セットとし、年間4セット実施します。これらのプログラム以外に、公務員志望者向けのプログラムや、内定を持つ先輩学生との交流会などを開催しています。コロナ禍の就職活動は、学業や部活動と就職活動をいかに両立させるかがポイントです。自身のスケジュールとキャリアセンターのプログラム日程を確認しながら、計画的に就職活動を進めましょう！

個別相談（予約制）を利用しよう！

「予約制」、「就職相談」と身構えずに気軽に利用を

キャリアコンサルタントの資格を持つアドバイザーや同志社大学職員に、自身のキャリアやインターンシップ、就職に関する相談をすることができます。1年次生から利用可能です。「就職活動の流れが知りたい」、「自分の強みが分からない」といった相談もOKです。気軽な気持ちで利用してください。

予約方法等の詳細はキャリアセンターホームページの「個別相談の利用」でお知らせしています。



2023年春採用に向けた主な支援プログラム（現3年次生・大学院1年次生対象）												
2021年				2022年								
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
サマーインターン				オータム&ウィンターインターン								
ガイダンス				ガイダンス				ガイダンス				ガイダンス
セミナー (指導者参加)				セミナー (指導者参加)				セミナー (指導者参加)				セミナー (指導者参加)
ワークショップ (実習参加)				ワークショップ (実習参加)				ワークショップ (実習参加)				ワークショップ (実習参加)
仕事研究				仕事研究				仕事研究				仕事研究
その他				その他				その他				その他
1クール目 サマーインターンに向けた準備				2クール目 オータム&ウィンターインターンに向けた準備				3クール目 本選考に向けた準備				4クール目 本選考直前準備

個別相談（予約制）※相談方法は対面・WEB・電話から選択できます

2020年度 大学決算について

財務部 経理課

2020年度大学決算は、2021年5月13日開催の大学予算委員会および大学評議会、5月29日開催の法人理事会で承認されました。

2020年度は、施設設備整備について、今出川校地においては、日本人学生と外国人学生の混住・共修環境を整えた教育推進に係る新学生寮（継志寮）の建設工事および早急に対応する必要がある各建物の耐震化対策の一環としての致遠館の建設を行いました。また、京田辺校地においては、トイレ改修工事やラグビー場、テニスコートの改修工事を実施し、学生生活のアメニティ向上を図りました。

教学面では、ネット配信授業の実施・受講をサポートするため、授業収録機材と授業支援システムの増強、Zoomのサイトライセンス契約、ノート型パソコンとWi-Fiルータの貸与、学内無線LANの増設等、ICT環境を重点的に整備しました。また、コロナ禍においても“学びを止めない”という強い意思の下、電子書籍の拡充、図書の配送サービス、コンビニエンスストアでの資料出力サービス、課外活動のインターネット対応といった新たな試みを行いました。

さらに、2018年度から進めている「ALL DOSHISHA 教育推進プログラム」では、学部および研究科が提案する質の高い教育プログラムから得られた様々な教育効果を改めて分析・共有し、本学の教育研究力の向上に役立て、次代の人物を養成するプログラムの新たな構築を進めています。

研究面では、「COVID-19 Research Project」として、ポストコロナの社会にむけた緊急研究課題について、「健康・医療」「社会・経済」「教育・文化・生活」の3領域を基盤に9分野、77課題の研究を実施しました。また、「同志社・ダイキン『次の環境』研究センター」において、ダイキン工業株式会社との包括的な教育研究に関する協定に基づく活動を推進しました。地球環境問題解決に資する技術開発とともに、自然科学知識と人文・社会科学知識をあわせ持ち、環境問題に取り組むことができる人物養成をミッションに掲げ、文理融合の教育プログラムである、「次の環境」協創コースをALA科目群の下で新たに開発しました。

学生支援面では、施設設備整備を進めている新学生寮（継志寮）について、2021年秋入寮に向けて入寮者の募集を開始したほか、新町別館の防音室工事を実施しました。

そのほか、「同志社大学 VISION 2025」を推進すべく、「同志社大学 2025 ALL DOSHISHA 募金」を継続して実施しました。この募金は、ビジョンに掲げる6つの事業推進をはじめ、奨学事業、課外活動支援、施設設備整備等幅広い事業を対象としており、本学に関わる全てのステークホルダーに本学の教育・研究活動のさらなる充実・発展に向けての支援をお願いするもので、2025年末まで継続的に実施する予定です。

以上の通り、2020年度は大学においてもコロナ禍の影響を大きく受ける一年となりましたが、教育、研究、学生支援、施設設備整備の各方面に亘り、必要となる財政的支援を重点的かつ効果的に行いました。収入面では、学生生徒等納付金、経常費等補助金、寄付金の増収等により、予算よりも増収となる一方、支出面においては、教育研究に係る各事業での経常的経費の執行残などにより、予算と比較して減少となりました。

以下、事業活動収支計算書に基づき主な収支の内容について説明します。

用語解説

事業活動収支計算書

学校法人会計基準において学校法人に作成が求められている計算書類の一つで、当該年度の事業活動における収入と支出の内容とその均衡状況を表すものです。

基本金

基本金は、学校法人の活動計画に基づき必要となる資産を事業活動収入から組入れて継続的に保持するもので、自己資金により取得した固定資産の価額に対応する第1号基本金、将来取得する固定資産に充てるための第2号基本金、運用果実により教育研究活動を進めるための基金である第3号基本金、恒常的に保持すべき運転資金である第4号基本金から成ります。事業活動収支計算書では、当年度に組入れる額が「基本金組入額合計」で表示されています。

I. 教育活動収支

学生生徒等納付金は330億円で、事業活動収入に占める割合は約80%と大きな比重を占めています。

手数料は16億円で入学検定料が主なものです。

寄付金は5億円で、同志社大学2025 ALL DOSHISHA 募金、研究助成への奨学寄付金、寄付教育研究プロジェクトなど教育研究活動への寄付金を受入れました。

経常費等補助金は36億円で、国庫補助金が主なものです。この大部分を占めるのが私立大学等経常費補助金で、一般補助23億円、特別補助4億円を受け入れた他、授業料等減免費交付金として9億円を受入れています。その他の国庫補助金では、大学の研究ポテンシャルを活用し、研究者が共同で研究を行う体制を整備した大学へ助成される、共同利用・共同研究拠点形成事業費補助金などを受入れました。

付随事業・収益事業収入は9億円で、企業からの共同研究費・受託研究費などの受託事業収入、学生寮の寮費などの補助活動収入が主なものです。

雑収入は7億円で、私立大学退職金財団からの交付金収入や施設設備利用料収入が主なものです。

繰出金は1億円で、法人内各学校からの資金調達額の返済額が主なものです。

分担金は2億円で、法人業務に係る法人内各学校の負担分です。

教育活動収入計は406億円で、予算に対して6億円の増額となりました。

人件費は206億円で、事業活動収入に対して約50%となりました。

教育研究経費は145億円で、経常的な教育研究活動に要した経費です。

管理経費は18億円で、大学の維持管理に要した経費です。

その他の支出を加えた**教育活動支出計**は370億円となり、予算に対して14億円の減少となりました。

学校法人の本業である教育研究事業の収支である、**教育活動収支**は、35億9,743万円の収入超過です。

II. 教育活動外収支

教育活動外収支は、主に財務活動の収支区分で、受取利息・配当金の計上等により、3億円の収入超過です。

教育活動収支差額と教育活動外収支差額を合わせた**経常収支**は39億円の収入超過です。

III. 特別収支

特別収支は、特殊な要因によって一時的に発生した臨時的な事業活動収入及び事業活動支出で、1億円の支出超過です。施設設備に係る寄付金及び補助金、現物寄付、法人内資金調達に係る貸付額及び返済額、本年度除却の固定資産に係る資産処分差額並びに過年度修正額が該当します。

IV. 基本金組入額および収支差額

基本金組入前当年度収支差額は37億円の収入超過となります。

基本金組入額は学校法人がその諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために組み入れる額で、36億円を組み入れます。機器備品の購入や致遠館改築等による第1号基本金の組入れおよび今後の資産取得に向けての第2号基本金の組入れが主なものです。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除した当年度収支差額は2億円の収入超過となります。

支出準備金取崩額は15億円で、使途が特定された準備金の取崩額などです。

支出準備金繰入額は15億円で、使途特定寄付金、研究費および大規模建設事業などの予算繰越額を決算において繰り入れたものです。

当年度収支差額に支出準備金取崩、繰入を加えた**調整後当年度収支差額**は、2億円の収入超過となります。

なお、**累積収支差額**として319億円の支出超過額を翌年度に繰り越すこととなります。

■2020年度 事業活動収支計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位: 千円)

教育活動収入の部	科目	予算	決算	差異
	学生生徒等納付金	33,175,920	33,008,515	167,405
事業活動収入の部	手数料	1,860,000	1,611,477	248,523
	寄付金	334,870	554,410	△ 219,540
	経常費等補助金	2,715,100	3,598,863	△ 883,763
	付随事業収入	855,400	933,742	△ 78,342
	雑収入	970,170	741,508	228,662
	繰出金(教育活動)	42,380	37,899	4,481
	分担金	132,030	154,110	△ 22,080
	教育活動収入計	40,085,870	40,640,524	△ 554,654
事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
	人件費	21,022,060	20,635,062	386,998
事業活動支出の部	教育研究経費	15,468,000	14,471,393	996,607
	管理経費	1,965,590	1,845,360	120,230
	徴収不能額等	10,380	69,999	△ 59,619
	繰入金(教育活動)	0	21,273	△ 21,273
	教育活動支出計	38,466,030	37,043,087	1,422,943
	教育活動収支差額	1,619,840	3,597,437	△ 1,977,597
教育活動外収入の部	科目	予算	決算	差異
	受取利息・配当金	130,720	248,790	△ 118,070
教育活動外収入の部	その他の教育活動外収入	0	0	0
	繰出金(その他)	7,630	7,210	420
	教育活動外収入計	138,350	256,000	△ 117,650
教育活動外支出の部	科目	予算	決算	差異
	借入金等利息	0	0	0
教育活動外支出の部	その他の教育活動外支出	0	0	0
	繰入金(その他)	0	1,021	△ 1,021
	教育活動外支出計	0	1,021	△ 1,021
	教育活動外収支差額	138,350	254,979	△ 116,629
経常収支差額		1,758,190	3,852,416	△ 2,094,226

特別収支	科目	予算	決算	差異
	資産売却差額	0	0	0
事業活動収入の部	その他の特別収入	200,000	174,540	25,460
	繰出金(施設設備)	360,000	360,000	0
	特別収入計	560,000	534,540	25,460
事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
	資産処分差額	1,110	11,179	△ 10,069
事業活動支出の部	その他の特別支出	0	36,846	△ 36,846
	繰入金(施設設備)	600,000	600,000	0
	特別支出計	601,110	648,025	△ 46,915
	特別収支差額	△ 41,110	△ 113,485	72,375
予備費		250,000		250,000
基本金組入前当年度収支差額		1,467,080	3,738,931	△ 2,271,851
基本金組入額合計		△ 3,154,300	△ 3,556,615	402,315
当年度収支差額		△ 1,687,220	182,316	△ 1,869,536
支出準備金取崩額		952,210	1,518,309	△ 566,099
支出準備金繰入額		△ 581,840	△ 1,527,949	946,109
基本金取崩額		0	0	0
調整後当年度収支差額		△ 1,316,850	172,676	△ 1,489,526
前年度繰越収支差額		△ 32,907,880	△ 32,077,703	△ 830,177
翌年度繰越収支差額		△ 34,224,730	△ 31,905,027	△ 2,319,703

(参考)

事業活動収入計	40,784,220	41,431,064	△ 646,844
事業活動支出計	39,317,140	37,692,133	1,625,007

2021年度 大学予算について

2021年度大学予算は、3月4日開催の予算委員会および大学評議会、3月27日開催の法人評議会、理事会で承認、決定されました。
主な事業は以下のとおりで、詳細な予算額については2021年度事業活動収支予算書のとおりです。

教育研究の充実
一般教室における収録環境の整備
「次の環境」協創コース運営
グローバル・リソース・マネジメント(GRM)事業
赤ちゃん学術センターの共同利用・共同研究拠点化
Comm 5.0-AI・データサイエンス副専攻プログラム
授業目的公衆送信保証金(SARTRAS)

学生生活支援の充実
スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室オリジナルサイト作成
総務管理運営業務委託
体育施設製氷機設置

企画広報・管理運営
Webサイトリニューアルに向けたコンサルティング・ヒートマップ作成ツール導入
ペーパレス会議システム整備(京田辺)
入学前サポートサイトの改修

建設事業
総志寮建設工事
寧静館・育真館改築等工事
京田辺キャンパストイレ改修工事
京田辺キャンパス多目的ホール吊り天井改修工事
陸上ホッケー場人工芝敷設
寒梅館・扶桑館・香知館空調設備更新工事
弘風館換気設備設置工事

■2021年度 事業活動収支予算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位: 千円)

教育活動収入の部	科目	予算	前年度予算	増減
	学生生徒等納付金	32,923,110	33,175,920	△ 252,810
事業活動収入の部	手数料	1,662,800	1,860,000	△ 197,200
	寄付金	323,410	334,870	△ 11,460
	経常費等補助金	3,587,260	2,715,100	872,160
	付随事業収入	877,260	855,400	21,860
	雑収入	890,770	970,170	△ 79,400
	繰出金(教育活動)	0	42,380	△ 42,380
	分担金	154,590	132,030	22,560
	教育活動収入計	40,419,200	40,085,870	333,330
事業活動支出の部	科目	予算	前年度予算	増減
	人件費	21,200,680	21,022,060	178,620
事業活動支出の部	教育研究経費	15,724,200	15,468,000	256,200
	管理経費	1,752,970	1,965,590	△ 212,620
	徴収不能額等	14,430	10,380	4,050
	繰入金(教育活動)	0	0	0
	教育活動支出計	38,692,280	38,466,030	226,250
	教育活動収支差額	1,726,920	1,619,840	107,080
教育活動外収入の部	科目	予算	前年度予算	増減
	受取利息・配当金	107,580	130,720	△ 23,140
教育活動外収入の部	その他の教育活動外収入	440	0	440
	繰出金(その他)	6,880	7,630	△ 750
	教育活動外収入計	114,900	138,350	△ 23,450
教育活動外支出の部	科目	予算	前年度予算	増減
	借入金等利息	0	0	0
教育活動外支出の部	その他の教育活動外支出	0	0	0
	繰入金(その他)	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	114,900	138,350	△ 23,450
経常収支差額		1,841,820	1,758,190	83,630

特別収支	科目	予算	前年度予算	増減
	資産売却差額	0	0	0
事業活動収入の部	その他の特別収入	200,000	200,000	0
	繰出金(施設設備)	350,000	360,000	△ 10,000
	特別収入計	550,000	560,000	△ 10,000
事業活動支出の部	科目	予算	前年度予算	増減
	資産処分差額	398,250	1,110	397,140
事業活動支出の部	その他の特別支出	0	0	0
	繰入金(施設設備)	0	600,000	△ 600,000
	特別支出計	398,250	601,110	△ 202,860
	特別収支差額	151,750	△ 41,110	192,860
予備費		260,000	250,000	10,000
基本金組入前当年度収支差額		1,733,570	1,467,080	266,490
基本金組入額合計		△ 1,959,690	△ 3,154,300	1,194,610
当年度収支差額		△ 226,120	△ 1,687,220	1,461,100
支出準備金取崩額		690,450	952,210	△ 261,760
支出準備金繰入額		△ 463,330	△ 581,840	118,510
基本金取崩額		0	0	0
調整後当年度収支差額		1,000	△ 1,316,850	1,317,850
前年度繰越収支差額		△ 32,077,700	△ 32,907,880	830,180
翌年度繰越収支差額		△ 32,076,700	△ 34,224,730	2,148,030

(参考)

事業活動収入計	41,084,100	40,784,220	299,880
事業活動支出計	39,350,530	39,317,140	33,390



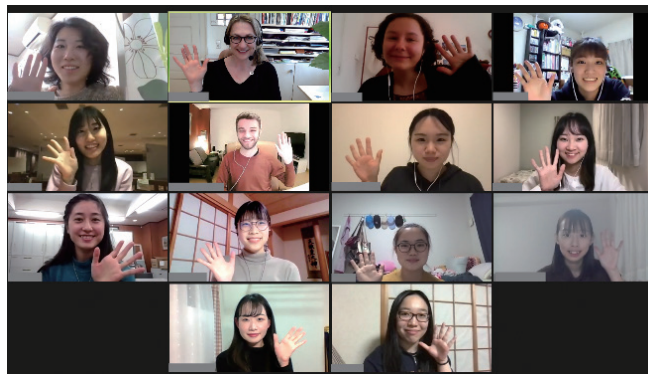
2021年春

EUキャンパスドイツ語オンラインプログラム 実施報告

EU キャンパス支援室

同志社大学チュービンゲンEUキャンパス（以下EUキャンパス）では留学プログラムが行われていましたが、2020年度春学期以降、新型コロナウイルス感染症の影響により現地に渡航できない状況が続いています。そのような中、コロナ禍でも「海外キャンパスを活かした取り組みと国際交流の機会を学生に提供したい」という思いから、3月1日～3月26日に2021年春 EUキャンパスドイツ語オンラインプログラムが実施され、10名の学生が参加しました。プログラムは全てZoomを用いたリアルタイムで行われました。ドイツ語授業の他、チュービンゲン市民からコロナ禍の体験を伺うことやチュービンゲン大学に在籍している留学生、日本学科学生と交流する機会にも恵まれました。プログラムの最後には、ドイツ語でプレゼンテーションを行えるまでドイツ語能力を高めることができました。また、語学力だけでなく、積極性や

異文化理解も向上し、実りの多いプログラムとなりました。プログラム内容と参加学生の感想をご紹介します。

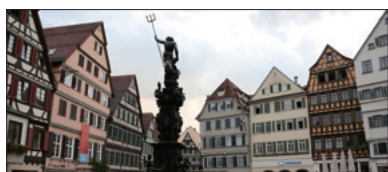


授業の様子
参加者とチュービンゲン大学ドイツ語教員、チューター

【ある1週間のスケジュール】

	月	火	水	木	金
8:00-9:30 (ドイツ) 16:00-17:30 (日本)	ドイツ語	ドイツ語	プレゼン練習	ドイツ語	ドイツ語
10:00-10:45 (ドイツ) 18:00-18:45 (日本)	ドイツ語	留学生との交流		ゲストスピーカー講演	ドイツ語

チュービンゲンの地理、街の特徴、大学生活などをテーマに、同志社大学で学習した文法事項の復習。説明なども全てドイツ語で行われました。初めは先生のドイツ語が聞き取れないことも多く、茫然とした参加者もいましたが、プログラムが進むにつれ自然と理解できるようになりました。



チュービンゲン・マルクト広場

最終週に日本文化をドイツ語で紹介しました。初めは『ドイツ語でプレゼンなんて無理!』という参加者ばかりでしたが、4週間みっちりドイツ語を学んだお陰で、全員が素晴らしい発表をすることができました。



発表例：ガチャガチャについて

プログラム中は様々な方と交流しました。

- 1.チュービンゲン市民（オーボエ奏者、日本人医療関係者、中学生3名）からコロナ禍の体験を聞き、日本とドイツの新型コロナウイルス対策の違いを学びました。
- 2.ヨーロッパ諸国からの留学生7名と日本人留学生1名から留学生生活について伺いました。全員が流暢にドイツ語を話されており、刺激を受けました。
- 3.日本学科学生9名とお互いの好きな場所を紹介し、京都またはチュービンゲンで再会を約束しました。

【学生の感想】

このオンラインプログラムを受けて、よりドイツ語の自信がついてモチベーションも大きく上がり、何よりドイツやドイツ語がもっと好きになりました。今後は、この1ヶ月間の経験を踏まえて大学でのドイツ語の授業を積極的に受講し、ドイツ留学という目標に向けて学習を頑張っていきたいです。

私は、留学は現地で学ばなければ意味がないと考えていました。しかし、オンラインでも語学の修練は可能で、ドイツの文化に沢山触れる素晴らしい機会は十分オンラインでもあることに気がきました。もちろん、新型コロナウイルスの影響が終われば、ドイツにもう一度行きたいです。しかし、次にドイツに行った時により多くが学べるように、オンラインで今のうちから学ぶこともまた、何事にも代え難い財産になることをこのプログラムを通して学びました。

～プログラムを終えて～

参加者はプログラムを通して、ドイツ語能力の向上に加え、異なった経験・価値観を持つ人と接し、自らの視野を広げることができました。参加者が渡航型の留学と変わらずこのような感想を持たれたことで、オンライン留学の潜在的な可能性を見いだせました。

海外渡航が難しくなってから、世界中の大学がオンライン留学プログラムを実施するようになり、今や珍しいものではなくなっています。しかし、今回のような特徴的かつ参加者の満足度の高いものを行うことができたのはEUキャンパス

があったからであると考えます。チュービンゲン大学の変わらないご支援を受けながら、現地との関係性を元に、『現地開催時と同じ』と『コロナ禍だからこそ学べる』内容の両方を盛り込むことができました。現地で実施できる日を心待ちにしながら、オンラインを駆使してEUキャンパス事業を継続していきたいと思ひます。



閉会式の様子

同志社大学障がい学生支援制度発足20周年記念シンポジウム 並びに企画展開催のご案内



今から20年前、同志社大学は「大学」として障がい学生の支援を行うことを決め、「障がい学生支援制度」を発足させました。まだ、障がいは障がい者自身の「自助努力」で克服すべきと考えられていた時代です。そんな中、支援される1人の障がい学生だけではなく、その1人をサポートする10人の学生の成長にも焦点を当てるべきとして、学生の支え合いを中心に据えた制度がスタートしました。今でこそ、「学生が学生を支援する」という方式は国内の大学における障がい学生支援のスタンダードですが、その原点には20年前にスタートした「学生同士の支え合いを通じて自律的成長を目指す」という大学の理念があるのです。

この間に、とても大きな社会の変化がありました。2016年の障害者差別解消法の施行です。これによって、障がい学生が他の学生と等しく学ぶ権利が「法」によって守られることになりました。法律が制定されて、全ての大学において障がい学生の学ぶ権利が保障されることとなった今、障がい学生支援を先導してきた同志社大学が目指すところはどこでしょうか。シンポジウムでは、「同志社で学びたい」と願ってくれた障がい学生と、その学生を支えたいと希望してくれた学生とがつかないできた「支え合う志」の20年を振り返りつつ、これからの障がい学生支援について、ともに考える機会としたいと思います。「私は、ただ他の学生と同じように勉強したいだけなのです」という学生の声によって産声を上げた障がい学生支援制度が、20年の時を経てどう成長し、そして次の20年でどう進化するのかをどうぞ見守っていただければと思います。

同志社大学 スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室長
阪田 真己子

(障がい学生支援室は2021年4月よりスチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室に改組。以下、SDA室と表記)

同志社大学障がい学生支援制度 発足20周年記念シンポジウム

日時 2021年8月7日(土) 12:30~15:30

会場 同志社大学室町キャンパス寒梅館
ハーディーホール

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により開催方法・内容を変更する場合があります。変更する場合は、大学HPにてお知らせいたします。

テーマ 「DO, CARE」の今とこれから
—同志社大学障がい学生支援制度発足20周年を記念して—

当日プログラム(予定)

12:30 開会 ・開会挨拶 植木 朝子(同志社大学学長)
・シンポジウム趣旨説明 阪田 真己子

12:45 講演
・基調講演 「障害学生支援のこれまでとこれから」
—同志社大学障がい学生支援制度20年の歴史に学ぶ—
白澤 麻弓(筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター 准教授)
・講演 「同志社大学障がい学生支援制度へこめた願い」
—大切にしたい2つのこと—
土橋 恵美子(同志社大学SDA室 チーフコーディネーター)

13:45~14:00 休憩

14:00 鼎談 「障がい学生支援制度の夜明けを振り返る(卒業生)」

14:30 パネルディスカッション
「支え合う志」をつないだその先に
モデレーター 阪田 真己子
日下 隆則(同志社大学SDA室 チーフコーディネーター)
パネリスト 白澤麻弓、土橋恵美子、卒業生、在学生

15:30 閉会
閉会挨拶 下楠 昌哉(同志社大学学生支援センター所長)

シンポジウム開催情報等

同志社大学HPにて最新の情報を掲載しています。

障がい学生支援制度発足20周年を記念し、企画展を開催中

同志社大学では、障がい学生支援制度発足20周年を迎えるにあたり、『支え合う志をつないで—障がい学生支援制度発足20周年—』を開催しています(同志社史資料センターとの共催)。本展では、障がい学生支援制度の20年の歴史とその前史を振り返ること、同志社がつかないできた「支え合う志」を概観し、今後の多

様な障がい学生支援の在り方を考えます。

企画展は今出川校地(ハリス理化学館)において、3月19日~5月23日まで開催し、2,500名を超える方に来場いただきました。7月1日からは京田辺校地(ラーネッド記念図書館2階展示室)において、3期に分けて開催を予定しています。

コロナ禍ではありますが、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を徹底しながら開催してまいります。





本学教員の執筆図書紹介

(価格は税込)

現代国際法の潮流 II

新井京 他 著 東信堂 9,240円

民法演習サブノート210問 第2版

佐久間毅 他 編著 弘文堂 3,190円

石橋湛山の〈問い〉

望月詩史 著 法律文化社 6,600円

人はなぜ税を払うのか

浜矩子 著 東洋経済新報社 1,650円

感染症時代の経営学

藤本昌代 他 著 千倉書房 2,750円

教養と生命

佐伯順子 他 著 春秋社 3,520円

音韻研究の新展開

吉田優子 他 著 開拓社 7,040円

地域包括支援体制のいま

永田祐 他 著 ミネルヴァ書房 2,860円

民主主義と教育の再創造

新茂之 他 著 勁草書房 3,850円

移民現象の新展開

森千香子 他 編著 岩波書店 2,860円

心理学からみたうつ病

石川信一 他 著 朝倉書店 2,860円

アートシーンを支える

太下義之 他 著 勉誠出版 2,750円

注釈モントリオール条約

山下友信 他 編 有斐閣 9,900円

国際化と家族

林貴美 高杉直 他 著 日本評論社 6,050円

流域ガバナンス

大園享司 他 著 京都大学学術出版会 5,940円

日本語文法史キーワード事典

山本佐和子 他 著 ひつじ書房 2,200円

教える赤ちゃん・察する赤ちゃん

孟憲麗 著 ナカニシヤ出版 4,290円

美学の事典

大愛崇晴 河野道房 佐藤守弘 他著
丸善出版 22,000円

条解刑法 第4版

河村博 他 編著 弘文堂 12,100円

プログラム評価ハンドブック

山谷清志 監修 山谷清志 他 著 晃洋書房 2,860円

オセアニアで学ぶ人類学

渡辺文 他 著 昭和堂 2,530円

多様化時代の社会科授業デザイン

金子邦秀 監修 金子邦秀 児玉祥一 奥野浩之
田中隆次 他 編著 晃洋書房 3,630円

実務コンメンタール 児童福祉法・児童虐待防止法

横田光平 他 著 有斐閣 6,820円

化学便覧 基礎編 改訂6版

木村佳文 他 編 丸善出版 49,500円

憲法学の現在地

御幸聖樹 他 著 日本評論社 3,960円

テレビドラマと戦後文学

瀬崎圭二 著 森話社 5,280円

多元化する地域統合

鈴木絢女 他 編著 岩波書店 2,860円

社会福祉の原理と政策

木原活信 他 編著 畑本裕介 他 著
ミネルヴァ書房 2,860円

ソーシャルワークの基盤と専門職

空閑浩人 他 編著 木原活信 野村裕美 他 著
ミネルヴァ書房 3,080円

穀物立法と穀物取引について

笠井高人 他 訳 京都大学学術出版会 4,620円

ソーシャルワークの基盤と専門職 [共通・社会専門]

空閑浩人 他 編著 中央法規出版 3,190円

ソーシャルワークの理論と方法 [共通科目]

空閑浩人 他 著 中央法規出版 3,190円

ソーシャルワーク演習 [社会専門]

野村裕美 他 編著 中央法規出版 3,190円

保健医療と福祉

野村裕美 他 著 中央法規出版 2,750円

地域福祉と包括的支援体制

永田祐 野村裕美 他 著 中央法規出版 3,190円

障害者福祉

廣野俊輔 他 著 中央法規出版 2,750円

企業と法をめぐる現代的課題

金田薫子 伊藤靖史 他 著 商事法務 15,400円

刑事司法と福祉

毛利真弓 他 著 中央法規出版 2,750円

古代近東の国際社会における多様な文化

Ada Taggar Cohen 編
Ada Taggar Cohen 他 著
同志社大学—神教学際研究センター

つくれる〈農村女性〉

岩島史 著 有志舎 5,280円

弥生地域社会構造論

若林邦彦 著 同成社 9,900円

ソーシャルワークの基盤と専門職

空閑浩人 他 編著 全国社会福祉協議会 2,420円

ソーシャルワークの理論と方法

空閑浩人 他 編 全国社会福祉協議会 2,750円

労働六法 2020

土田道夫 他 著 旬報社 6,050円

ラテンアメリカ地球規模課題の実践

宇佐見耕一 他 著 新評論 3,300円

日本語研究と言語理論から見た言語類型論

田中雄 他 著 開拓社 4,400円

Before/After 会社法改正

船津浩司 他 著 弘文堂 2,200円

韓国語を教えるための韓国語の発音システム

金鍾徳 著 ひつじ書房 7,480円

朝鮮籍とは何か

崔紗華 他 著 明石書店 2,640円

現代日本政治の展開

武蔵勝宏 他 著 法律文化社 3,080円

仏教事典

植木朝子 他 著 丸善出版 26,400円

世界の食文化百科事典

竹内長武 他 著 丸善出版 22,000円

防衛実務国際法

坂元茂樹 他 著 弘文堂 6,490円

「ブレグジット」という激震

カ久昌幸 他 著 ミネルヴァ書房 3,850円

日本大衆文化論アンソロジー

佐野明子 他 編著 太田出版 1,980円

新しい気候観と日本史の新たな可能性

若林邦彦 他 著 臨川書店 3,960円

良心から科学を考える

小原克博 元山純 武藤崇 林田明 和田喜彦
廣安知之 貴名信行 櫻井芳雄 他 著
岩波書店 1,760円

Dickens and the Anatomy of Evil

桐山恵子 玉井史絵 他 著
アティナー・プレス 4,000円

ホリスティック教育講義

中川吉晴 著 出版館ブック・クラブ 2,860円

アメリカ銀行法

川口恭弘 著 弘文堂 3,190円

記憶と対峙する世界文学

臼井雅美 著 英宝社 4,400円

16・17世紀の数学的音楽理論

大愛崇晴 著 晃洋書房 7,700円

身体と環境をめぐる世界史

服部伸 編 服部伸 大谷実 滝山洋子 他 著
人文書院 8,250円

記憶と慣行の西洋古代史

堀井優 他 編著 岸本廣大 他 著
ミネルヴァ書房 4,400円

図録 知的財産法

山根崇邦 他 著 弘文堂 2,750円

福祉政策とソーシャルワークをつなぐ

廣野俊輔 他 著 ミネルヴァ書房 3,080円

クリティカル・ワード メディア論

佐藤守弘 他 著 フィルムアート社 2,420円

行動科学でより良い社会をつくる

瓜生原葉子 著 文眞堂 3,630円

ハンドブック近代日本政治思想史

望月詩史 他 編著 林葉子 他 著
ミネルヴァ書房 4,180円

万葉集巻十三の長歌文芸

垣見修司 著 和泉書院 7,700円

尊厳

峯陽一 他 訳 岩波書店 924円

パンデミック時代における良心

小原克博 下楠昌哉 内藤正典 木原活信
深谷裕 八木匡 和田喜彦 後藤琢也 飯塚まり
北寿郎 山下貴子 内山伊知郎 板倉昭二
元山純 貴名信行 櫻井芳雄 廣安知之
林田明 辻内伸好 他 著
同志社大学良心学研究センター

「戦後民主主義」の歴史的研究

望月詩史 他 編著 林葉子 他 著
法律文化社 7,260円

核と放射線の現代史

和田喜彦 他 著 昭和堂 5,500円

貨幣の統合と多様性のダイナミズム

鹿野嘉昭 他 著 晃洋書房 7,480円

超大国 中国のあゆみ

巖善平 著 晃洋書房 3,080円

虫たちの日本中世史

植木朝子 著 ミネルヴァ書房 3,300円

「研究プロジェクト」時間と言語

藤井俊博 他 著 ひつじ書房 6,820円

創業ベンチャーに学ぶプロモーション戦略

富田健司 著 中央経済社 2,640円

最新内燃機関 改訂版

松村恵理子 他 編著 朝倉書店 3,520円

イギリス刑法の原理

川崎友巳 佐藤由梨 十河太朗 松原久利
山田慧 他 訳 成文堂 10,450円

議会制度とその運用に関する比較研究

武蔵勝宏 著 晃洋書房 5,280円

植民地主義、冷戦から考える日韓関係

太田修 編 太田修 西村直登 板垣電太
福岡正章 他 著 同志社コリア研究センター

INTERVIEW

同志社人 訪問

天野 祥吾さん
【社会学部3年次生】



フリーアナウンサー

石井 亮次さんに聞く

2013年に東海3県エリアで始まった情報番組が、今年からは地元関西でも放送開始。

MCの石井亮次さんに、三山雅子教授のゼミの後輩であり、愛知県出身の天野祥吾さんがオンラインでインタビューしました。

実家のガソリンスタンドで 朝から晩までアルバイトした日々

天野 僕は愛知県出身なので、高校生の頃にも石井さんが出演される番組をよく拝見していました。

石井 それはうれしいですね。天野さんとは出身のゼミも同じですし、今日は何でも聞いてくださいね。

天野 はい。では、まずどんな大学生活だったのかを教えてください。

石井 実家が大阪でガソリンスタンドをしているので、そこで朝から晩までアルバイトをしていました。アルバイト中心の生活で、社会人になってから、

もっと勉強しておけばよかったと後悔しましたけど。でも、ガソリンスタンドには朝から晩まで毎日放送のラジオが流れていて、それをずっと聴いていたので、トークの勉強になっていたんです。お客様と話をするのも、アナウンサーに必要なコミュニケーションに通じるし、「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」と大きな声を出すのは発声練習にもなって。一生懸命に働くことも学びました。

天野 アナウンサーになりたいと思ったのは、どんなきっかけがあったのですか。

石井 そもそもは小学3年生のとき

(1985年)に阪神タイガースが優勝して、実況中継している人を格好いいなと思ったのが最初です。中学や高校でも人前でしゃべるのは好きでしたが、なるのは難しいだろうなと思い、諦めていたんです。ガソリンスタンドを継ぐつもりで、就職活動の時期になっても何も調べずにいたのですが、同級生がテレビ局のアナウンサー試験を受けていたんです。面接を通ればアナウンサーになれると聞き、慌ててマニュアル本をたくさん買って、スーツも買って、就職活動を始めました。急だった割には毎日放送では最後の20人に残り、名古屋テレビ(現メ〜テレ)では最後

批判することは簡単だが、良い面も伝えたい
テレビを見る人の心を少しでも穏やかに



今回の同志社人

石井 亮次 さん【2000年 文学部 卒業】

いしい・りょうじ 1977年3月27日生まれ、大阪府出身。2000年4月、CBC（中部日本放送）入社。2013年4月より、情報番組『ゴゴスマ～GOGO！Smile！～』のMCとなる。2020年3月退社。フリーアナウンサーに転身後も同番組のMCを務める。同番組は放送エリアを広げ、現在は地元のMBS（毎日放送）でも放送されている（月～金曜13：55～）。

の3人に残りはしたのですが、結局、落ちてしまいました。でも、どうしても野球の実況がしたかったので、就職留年して、もう1年頑張ることにしたんです。

特技の実況中継で入社するが 入社後は実況中継で痛恨のミス

天野 留年した1年間はどのように過ごしましたか？

石井 アナウンサーの専門学校に半年間通いました。面接の作戦もいろいろ練りましたね。エントリーシートの特技のところに「実況中継」と書くと、面接官が必ず質問してくれました。入社した中部日本放送では、残り3人になったとき、局長面接で実況中継をやったと言われたので、3人の就職レースを競馬にたとえて実況しました。い

よいよゴールというところで、「さあ、残り200mを切って3頭並んだ！1着でゴールする馬を決めるのは面接官の皆さんでーす！」と叫ぶと、ドッと受けて。当時、合格するのは体育会でキャプテンをやっていたような人やコンテストで優勝された人ばかりでしたが、僕はガソリンスタンドでアルバイトしかしていない。だから、得意な部分を伸ばそうと思ったんです。

天野 入社してからは実況中継を？

石井 最初の2年間は、中日ドラゴンズの2軍の試合を実況中継していました。ところが、痛恨のミスをしてしまったんです。「ウエスタン・リーグの公式戦、中日対阪神の1回戦です。私、ナゴヤ球場まで電車で参りました。球場の周りには……」と、周辺の状況描写をしているうちに肝心の第1球を見逃

してしまい、「ああっ、1球目、投げていました！」と。それでクビになりまして、情報番組を担当するようになりました。

情報番組「ゴゴスマ」のMCに

天野 今、MCを務めておられる「ゴゴスマ」が始まったのは2013年ですね。

石井 はい。当時は36歳で、やっと自分の帯の番組ができたことが、ものすごくうれしかったです。最初は料理の作り方などを紹介する内容で、今のようないきなりニュース番組になるとは思っていませんでした。2015年から関東1都6県で放送されるようになると聞いたときも、信じられませんでしたね。父親に話すと、「それは天皇陛下もご覧になるかもしれない」と言うので、武者震いしたことを覚えています。そこから半年ごとに放送エリアが増えて、今年3月15日からは関西の毎日放送でも放映されるようになり、人口約1億人のエリアで見いただいています。非常にありがたいと思っています。

天野 放送エリアが広がっていった理由は何だと思いますか。

石井 お昼の時間帯は会見があったり、今ならコロナの感染者数の発表があったりいろいろな動きがあるんです。視聴者が生の情報を知りたいというニーズも高まっています。系列局は20数局ありますが、その時間帯に生で放送しているのが「ゴゴスマ」なので、どんどん放送エリアが広がったのだと思います。

天野 地元の関西で放送されるようになると聞いたときは、どんなお気持ちでしたか。

石井 本当にうれしくて、泣きました。関西でテレビを見て育ったけれど、どこにも入社はできなかった。それが20年経って、こんなにうれしいことがあるんだと。毎日放送で最初に放送された日は、ものすごく緊張しましたが、同志社大学時代の友人がたくさん連絡をくれました。「よかったよ」と言ってくれたり、付度なしで率直な意見も言ってもらえたり、学生時代の友だちって本当にありがたいです。父親は6年前

に亡くなりましたが、母親が番組を見られるようになったのも、うれしいことです。

時代が求めているのは「やさしさ」 わかりやすく丁寧に情報を伝える

天野 去年4月にはフリーに転身されましたね。

石井 これも多く多くの地域で放送されるようになったおかげで、東京の事務所の人が声をかけてくれたのがきっかけです。私は名古屋に骨を埋めるつもりでいました。それで「ゴゴスマを愛していますから」と言うと、「続けられいいんです。フリーになって他の番組にも出ることでゴゴスマの宣伝になります」と言うのです。妻に相談すると、「人生は一度きり。ぜひやったほうがいい」と言われて、決心がついたんです。

天野 フリーになってから、意識の変化はありますか。

石井 「ゴゴスマ」に全力投球であることは変わりませんが、他の番組へ行くと、オーディションを受けるようなヒリヒリする気持ちになりますね。1回1回が勝負であることが楽しくて、自分には合っているような気がします。

天野 今、仕事で大事にしていることは何ですか。

石井 最近、CMのキャッチコピーで「批判よりも提案を、嘆きよりもユーモアを」と聞いて、まさに今の時代はこれだと思いました。時代は「やさしさ」を求めているんです。アナウンサーの場合は、「優しさ」ではなくて、「易しさ」。つまり、わかりやすさだと思えます。わかりやすく丁寧に説明することが「優しさ」にもつながると思っています。

天野 特に新型コロナウイルスの感染拡大で、今は情報の伝え方にも難しさがあると思います。

石井 そうですね、伝え方によって、全然受け取り方も違うと思います。「ワクチン接種が進まず、大混乱です」とだけ伝えと、げんなりしてしまいますよね。当然、混乱していることは事実として伝えるんですけども、工夫して取り組んでいる自治体もあるはず



ですから、その情報も伝えたい。批判することは簡単ですが、良い面も伝えることで、見る人の心が少しでも穏やかになるように心がけています。

一瞬たりとも無駄なことはない 自由に行動してほしい

天野 これから挑戦したい番組や仕事はありますか。

石井 ゆくゆくは関西でラジオの帯番組をしてみたいですね。そして、この世を去る直前まで、おしゃべりの仕事をしたいというのが夢です。ラジオのパーソナリティというのは、パーソナルをむき出しにするという意味らしく、人間そのものを出せるような気がします。「ゴゴスマ」は、実はラジオ

だと思ってやっているところもあるんですよ。作業をしながらテレビをつけている人も多いので、声だけ聞いていてもわかるように意識しているのは、将来のための布石でもあるんです。

天野 では、在学生へのメッセージをお願いします。

石井 社会に出る前の貴重な4年間ですが、やりたいことがなければ毎日寝てばかりでもいいし、それを後悔するのもまた経験です。ただ過ごしているだけの日々にも、一瞬たりとも無駄なことはない。社会に出てから確実に何かにつながります。大事なものは、とりあえず一歩踏み出してみることに。難しく考えず、自由な時間を過ごしてください。

インタビューを終えて



インタビューアー
天野 祥吾 さん
【社会学部3年次生】

あまの・しょうご 愛知県出身。高校生のとき、過労自殺の問題を知ったことがきっかけで社会学部へ入学。長時間労働、正規・非正規雇用の処遇格差をはじめとする労働問題に関心をもち、3年次からは三山雅子教授のゼミに所属。2020年文学部・社会学部父母会の成績優秀者奨学金を授与され、より勉強に励んでいる。

テレビに出演している石井さんは、誠実に真面目にニュースを伝えているイメージでしたが、今日お話をして、ユーモアのあるお人柄も感じました。話題が尽きず、私の質問にも真摯に答えてくださって、うれしかったです。お話で特に印象的だったのは「寝ていることも、後悔することも経験である」ということ。何でもあまり重く受け止めず、挑戦してみようと思いました。これから就職活動が控えていますが、石井さんのお話を伺って、働くことをより現実的にとらえることができたので頑張ります。インターンシップなどにも全力で取り組んでいきたいです。



My Job,

私と「仕事」

学生時代からの夢を追い続け、多彩な分野で活躍する卒業生

その姿が学生の皆さんの将来の

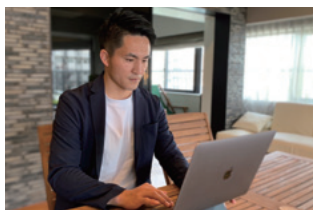
もりた ようすけ
森田 洋介さん

【2011年 商学部商学科卒業】

株式会社リード・イノベーション プラストコーチ

ラグビーで学んだ強い組織・チームづくりを ビジネスの世界に活かしていきたい

On time



取引先20～30社の人材採用・組織開発等を担当。自宅や取引先で仕事をしていることが多いですが、フレックスタイムで対応しています。



忙しいときこそ、
コーヒーブレイクで気分転換。
ほっと一息つく瞬間です。

Off time



休日は子供三人（長男4歳・長女2歳・次女1歳）と公園で遊ぶのを楽しみにしています。移動はもっぱらキャンプ用のカート。まとめて楽しく運べます。



引退後も毎週土曜日はラグビーDAY。仲良しのママ友のパパがラグビー大好きニュージーランド人。2人で「Abiko Ducks」というラグビーチームを発足させました。気づけは小学生からシニアまで集まり、一緒にラグビーを楽しんでいます。

2019年まで、国内最高峰のトップリーグでラグビー選手としてプレーしていました。所属チームはNECグリーンロケッツ。ポジションは司令塔と呼ばれるスタンドオフで、チームの戦略・戦術を一手に担います。体格は小柄な方ですが、得意なパスやキックを活かしてチームに貢献。在籍中は、日本A代表や関東代表、チームキャプテンに選ばれるなど貴重な経験をさせていただきました。

そんな私のラグビー人生に深く影響したのが同志社大学ラグビー部です。きっかけは、小学5年生のときに観たラグビー部の特集番組でした。当時の選手たちの姿に強く憧れ、「ここのユニフォームを着るんだ!」と決心。この夢を実現するために、同志社中学校を受験し合格。中・高・大までラグビー一色の生活を送りました。卒業後は大学の2年上の先輩で、NECグリーンロケッツで活躍されていた釜池真道さんに声をかけていただき、NECへ。入社9年目で、22年間のラグビー人生にピリオドを打ちました。引退後はNECに残る道もありましたが、次のステージを考えたとき、もともと興味があった経営やビジネスの世界で、ラグビーで学んだ組織・チームづくりを活かしたいと思い、転職に踏み切りました。

私は今、コンサルティング会社のリード・イノベーションで働いています。主に、依頼

元である企業の組織開発や採用活動、人材育成の他、エージェンシー・人材紹介事業を行っています。当社のコンセプトである「BLAST（ブラスト）」は、和訳すると「突風」です。試合の流れが誰かのワンプレーで変わるように、会社経営も誰かの一言や意思決定で流れが変わってくる。そんな流れを変える「突風」を引き起す仕組みをつくり、自走できる組織・チームづくりをサポートする当社の姿勢を表しています。私は「ブラストコーチ」として、「強い組織づくり」のノウハウを提供するとともに、経営者との対話を繰り返して一緒に企業課題を見つけて解決していくコーチングをしています。私がチームづくりで大切にしていることは、一人ひとりが主体的に考え、動けるようにすること。自分が経験したことを活かして、企業の人材、組織開発をトータルでサポートしていきたいです。

新会社設立もしています。新会社では育成にフォーカスした事業を行います。興味ある方はお気軽にご連絡ください。

後輩の皆さんには、ぜひ同志社大学でつながった人脈をフルに活用してほしい。大学で頼れる先輩や大切な仲間に出会えることは、人生の財産になります。私も仕事やプライベートで諸先輩方に助けていただいています。各世代の同志社OB・OGが助けになってくれるはずですよ。

My Life

第86回

を訪ね仕事に挑む熱い思い、今後の目標などをインタビュー。

キャリア・プランに役立てば幸いです。

いながき かのこ
稲垣 佳乃子さん

[2017年 法学部政治学科卒業]
株式会社さりげなく 代表取締役

読む人に考える余白を残す 「わかりにくい」本を出版し続けたい

卒業後は東京の企画編集会社に就職しました。「いろいろなボスやチームと仕事をしたいほうが早く成長できる」がその会社の基本方針だったので、2年目からは他の2社でも複業することになり、執筆、編集、ウェブ作成など、さまざまな仕事を経験。2019年に出版業を始め、2021年2月に出版社「株式会社さりげなく」を設立しました。現在は「さりげなく」を含めた3社で複業しています。

同志社大学の法学部政治学科へは、将来、国連で働くことを目的に進学しました。国連に興味をもったきっかけは小学4年生のとき、『世界がもし100人の村だったら』という本を読んで、勉強をしたくてもできない環境にある子どもがいることに衝撃を受けたからです。大学では、世界を視野に入れて働くことを目指す多くの友だちに恵まれました。その一方で、京都の大学生たちが集まってフリーペーパーを作成するサークルに所属。企画編集を学ぶうちに、国際関係の難しい問題も企画編集によって、うまく伝えられるのではないかと考えるようになりました。アメリカと中国、日本の関係についてのゼミの課題が出たときには、アメリカと中国に挟まれる日本を、カレーを食べたい友人とラーメンを食べたい友人に急に誘われるという内容に置き換えたコラ

ムを書いたこともあります。「わかりやすい」と言ってくれる人もいて、誰かの思いを言語化する職業を面白いと明確に思うようになりました。

本は子どもの頃から大好きで、出版社を作ったのは、最初に作家の文章を読めるからという純粋な理由です。その文章の重みを感じれば感じるほど、人に届けたい思いも強くなります。「この人の本を出したい」と心から思い、最初に出版したのが仲西森奈さんの歌集『起こさないでください』でした。しかし、人に届けたい思いは強いものの、私が出版したいのは、わかりにくい本です。すべてを伝えるよりも「これ、何だろう」と思わせることのほうが重要で、読む人に考える余白を残しておきたい。その本が、いつか古本屋に並んで、また誰かの本棚に並んで、そこからまた別の人の手へ……と続いていくと想像するだけで、やりがいを感じます。

大学生の頃には出版社を作るとは思ってもいませんでしたし、就職した会社が別の会社だったら、今のように複業もしていなかったでしょう。在学生の皆さんには、少しでも関心のあることを見つけれられたら、それだけでラッキーだと伝えたい。見つけたものが、どんなことであったとしても、道は拓けていくはずですよ。

One day on the job



🕒 08:00～
デスクワーク

進行中の書籍の編集、プロジェクトの企画の資料作成、打ち合わせなどを行います。



🕒 12:00
昼食

豪華なものではなくとも、毎日スタッフのみんなで作って食べることを大事に。



🕒 13:00
ラジオ体操をする

食事の後は眠くなるので、ラジオ体操！



🕒 15:00
カフェオレを作る

メンバーそれぞれ役割があって、私はカフェオレ担当。



🕒 16:00
外へいって、観望

生き物をついたり、気になることがあったりと庭へいく。頭がスッキリしてアイデアが生まれる、ことがあったりなかったり。



🕒 18:00
書店へ

新刊の雑誌『思考記』を恵文社へ見に行く。在学中から通い詰めた本屋さんで自社の本がある光景はとてもとても嬉しい。

「第17回大学生M-1グランプリ2020」で優勝 毎月ネタをつくり出演し続けてきたライブの経験を糧に 大学生漫才日本一の座を獲得

2021年3月15日、「第17回大学生M-1グランプリ2020」（主催・早稲田大学放送研究会）で、本学のお笑い同好会「喜劇研究会」所属の葎本有悠史さんと蓬田泰生さんによる漫才コンビ「ベグBOG」が優勝を果たした。例年は年末に開催される同グランプリだが、新型コロナウイルス感染拡大のため延期になったうえ、オンラインでの開催となった。当日は120組を超える参加者から、動画審査とインターネット投票によって勝ち残った4組が決勝に進出。優勝が決定したとき、葎本さんは「自分たちが面白いと思ったことが、ちゃんと評価されたのがうれしかった」、蓬田さんは「二人とも大学から漫才を始めたので、いいネタがなかなか作れずに苦しいこともあり、報われた気持ちがありました」と感慨深げに語る。

というのも、このとき審査されたネタ「腕相撲トーナメント」は、3年次生最後の引退公演のために作った渾身の1本。喜劇研究会では月1回のライブがあり、それに向けて毎回、納得がいくまでネタ作りに取り組んできた二人にとって、3年間の集大成ともいえるネタで優勝できた喜びはひとしお。審査員からも「切り口が斬新」と高い評価を得ることができた。大学生M-1グランプリに先立つ2020年11月には、同志社EVE（創立記念行事）の「同志社芸人No.1決定戦2020 in 祇園花月」でも優勝しており、引退を有終の美で飾った。

二人がコンビを結成したのは1年次生の春のこと。喜劇研究会では伝統的に「コンビ決め」というイベントがあり、ツッコミ志望とボケ志望に分かれて、くじでコンビを組んでネタを即興で作り、皆の前で披露する。それをお互いに見て、両想いになったらコンビ成立になるのだが、「お互いに元気で声の大きいところが気に入って組むことになった」と話すのは、ツッコミ役の蓬田さん。ボケ役の葎本さんも「最初から気が合って、漫才コンビでは珍しいのですが、ネタもずっと二人で作ってきました。まあ、2人で考えれば、スベったときも2人で責任を分け合えますからね」と笑う。

喜劇研究会では周囲からの刺激も多く受けた。毎月のライブは本学のクローバー

ホールで開催され、出場チームの1位から最下位まで順位が付けられるので、負けていられないという気持ちがモチベーションにつながった。二人とも負けず嫌いなうえ、毎月楽しみにして時間を作って見てくれる人たちの思いに、何よりも応えたかったのだという。コロナ禍でライブ配信となってからは、「お客様の笑い声が返ってくるのが一番うれしかったのだと、改めて実感しました」と、口をそろえる。

気の合う二人は、お笑いの道でプロになろうとは思っていないところも共通している。その理由は、「プロを意識すると、本当に自分たちのしたいことができなくなるから」と葎本さん。蓬田さんも、「やりたいことを出し切る。それが一番の大きな目標でした」とふり返る。大学4年間で全力で走り抜ける気持ちで、お笑いにも学業にも取り組みようと考えが一致した。その後、葎本さんは法学部のゼミで刑法に興味を持つようになり、未遂事件について研究。蓬田さんは消費者行動論に基づくブランドマーケティングを研究するゼミで、企業が持つ課題に対して提案しているときが楽しいと言う。

そして今、二人が全力で取り組んでいるのは就職活動。ウェブ面接という前例のない状況にも、経験できることは何でも経験しようと、前向きに取り組んでいる。「面接では、お笑いのことを話すと興味をもってもらえることが多いですね。ネタ作りなど人が喜ぶことを一から作ることや、頑張る力を評価してください」と蓬田さんは自分をアピール。「地域の祭りやイベントにもよく参加してきたので、いきなり30分の時間を与えられても逃げ出すことなく、お客様を喜ばせてきた。そんな経験で培われた度胸や対応力が、就職活動に役立っていると感じます」と葎本さんも語る。

本家M-1グランプリにも毎年挑戦してきた二人。残念ながら1回戦敗退が続いているが、「今年も開催されるのであれば、練習を再開して挑戦したいですね。目標は、とにかく1回戦突破！そして、10年後ぐらいに優勝できたら、このOne Purposeにまた登場したいです」と、これから人を笑顔にするための挑戦は続く。



上 よもぎだ たいせい
蓬田 泰生さん
[商学部 商学科 4年次生]

下 よしもと あゆし
葎本 有悠史さん
[法学部 法律学科 4年次生]